

第52回 渋谷駅周辺地域の整備に関する調整協議会

令和元年12月13日（金）

午前10時00分～12時00分

場所 渋谷区勤労福祉会館第一洋室

議事次第

1. 開 会

2. 前回議事の確認

3. 議 事

(1) 2020 オリンピックに向けての工事状況について

資料1

(2) 渋谷駅中心地区全体における広場空間のあり方について

資料2

(3) ハチ公広場・スクランブル交差点について

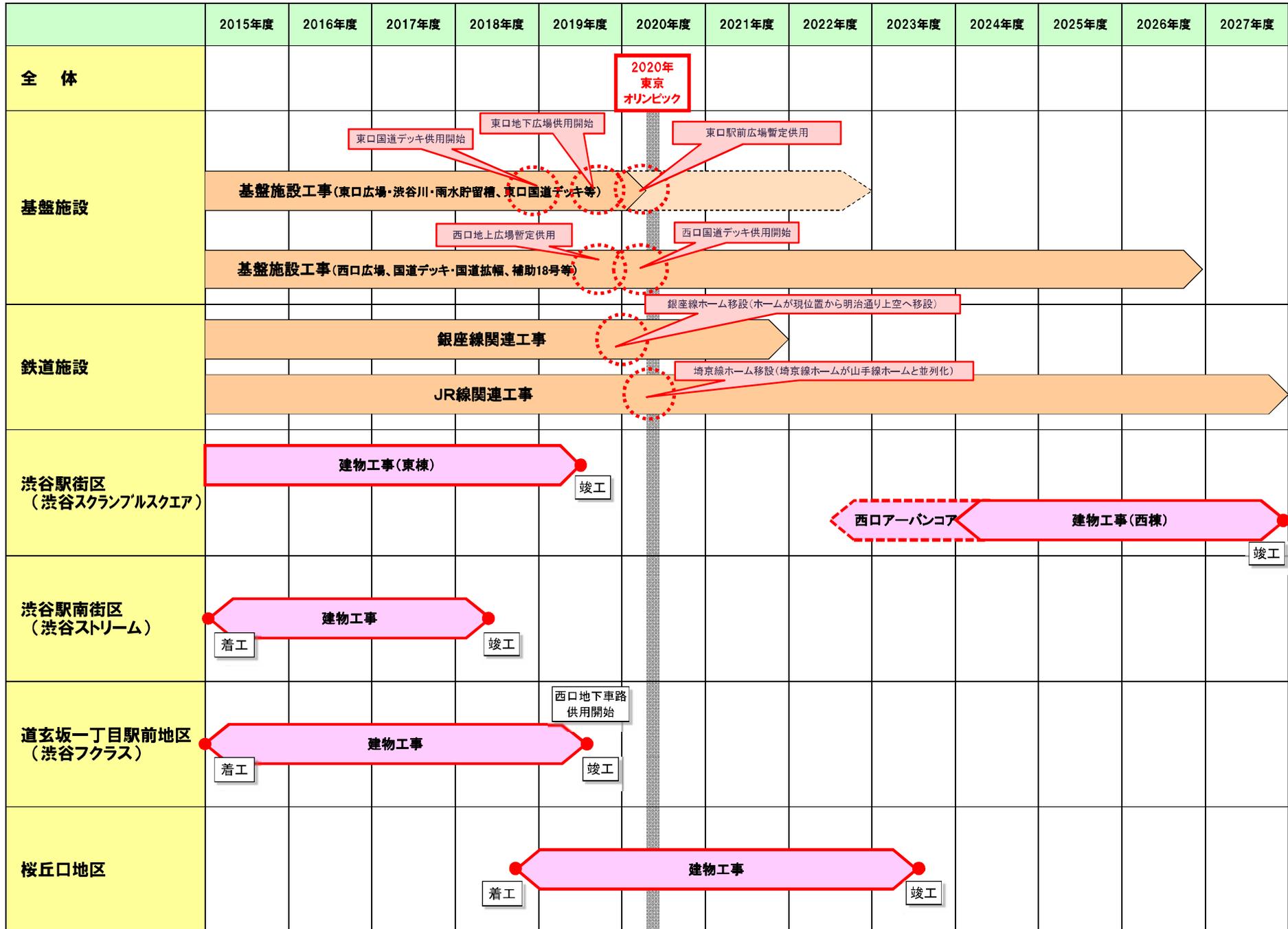
資料3

(4) その他

その他

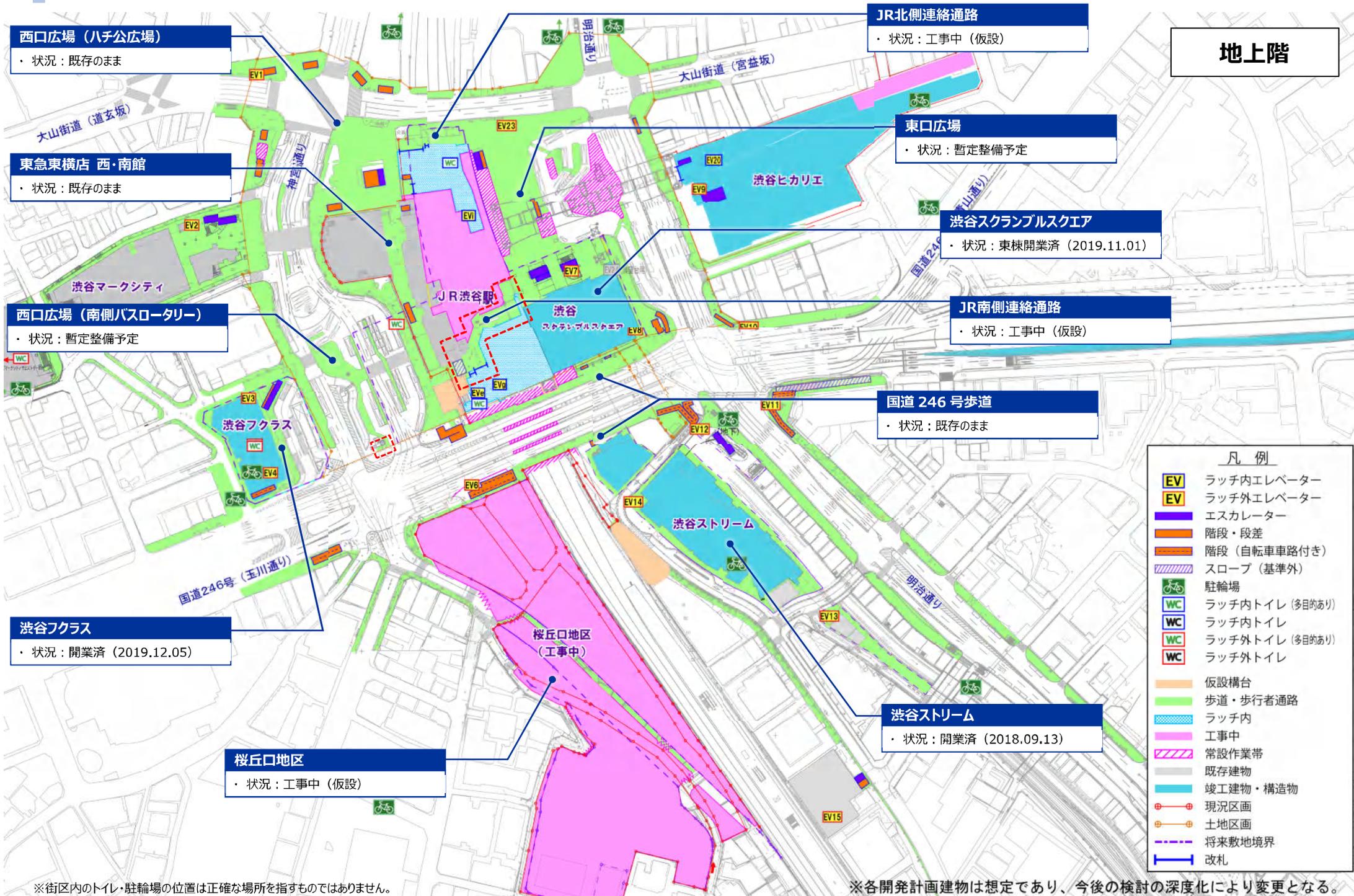
4. 閉 会

■ 渋谷駅周辺 スケジュール（案）



※本資料は、2019年7月29日第16回渋谷駅中心地区まちづくり調整会議資料等に基づき事務局で作成

地上階

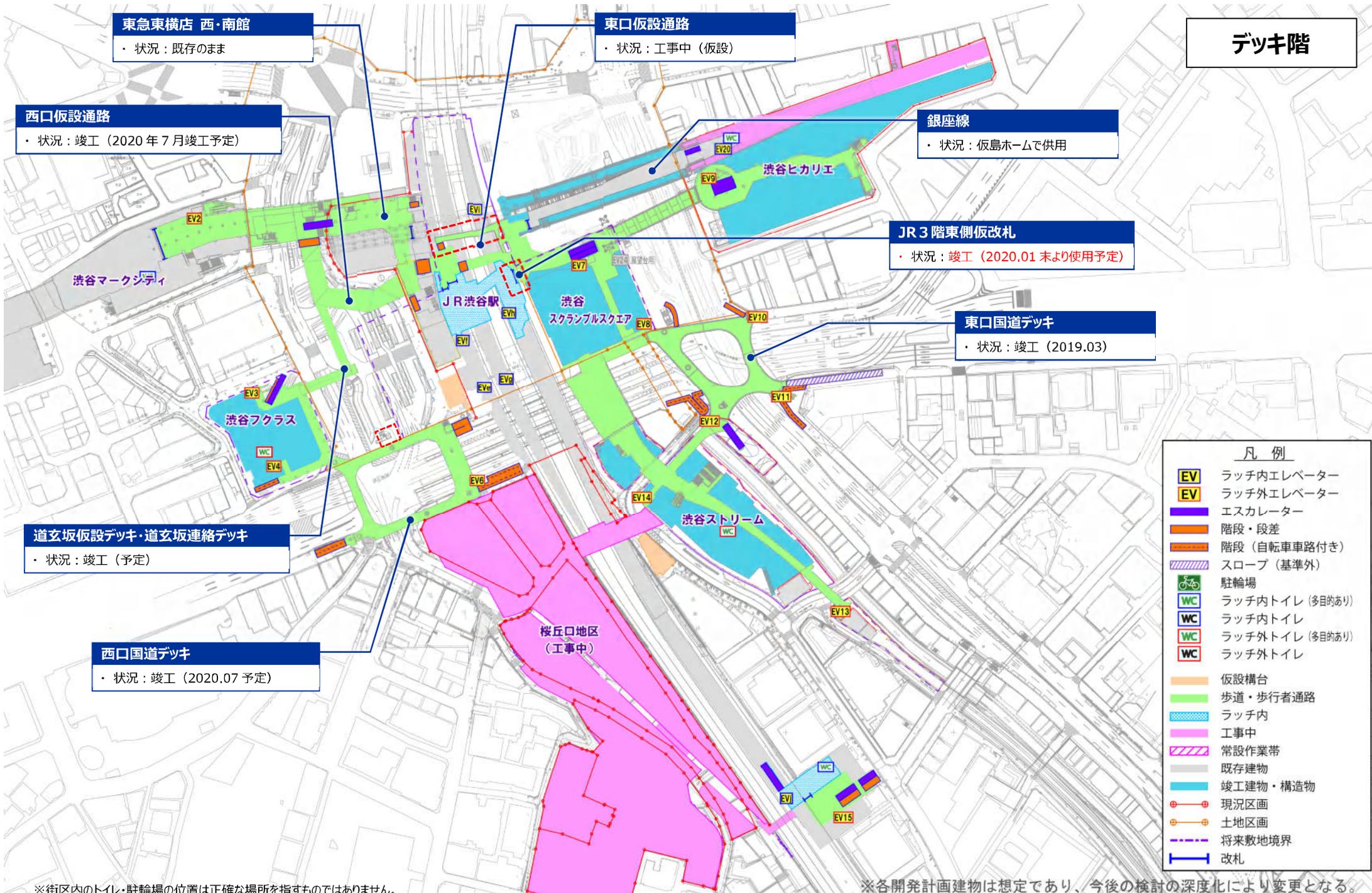


※街区内のトイレ・駐輪場の位置は正確な場所を指すものではありません。

※各開発計画建物は想定であり、今後の検討の深度化により変更となる。

2020年オリパラ時における状況

デッキ階



東急東横店 西・南館

・ 状況：既存のまま

東口仮設通路

・ 状況：工事中（仮設）

西口仮設通路

・ 状況：竣工（2020年7月竣工予定）

銀座線

・ 状況：仮島ホームで供用

JR 3階東側仮改札

・ 状況：竣工（2020.01末より使用予定）

東口国道デッキ

・ 状況：竣工（2019.03）

道玄坂仮設デッキ・道玄坂連絡デッキ

・ 状況：竣工（予定）

西口国道デッキ

・ 状況：竣工（2020.07 予定）

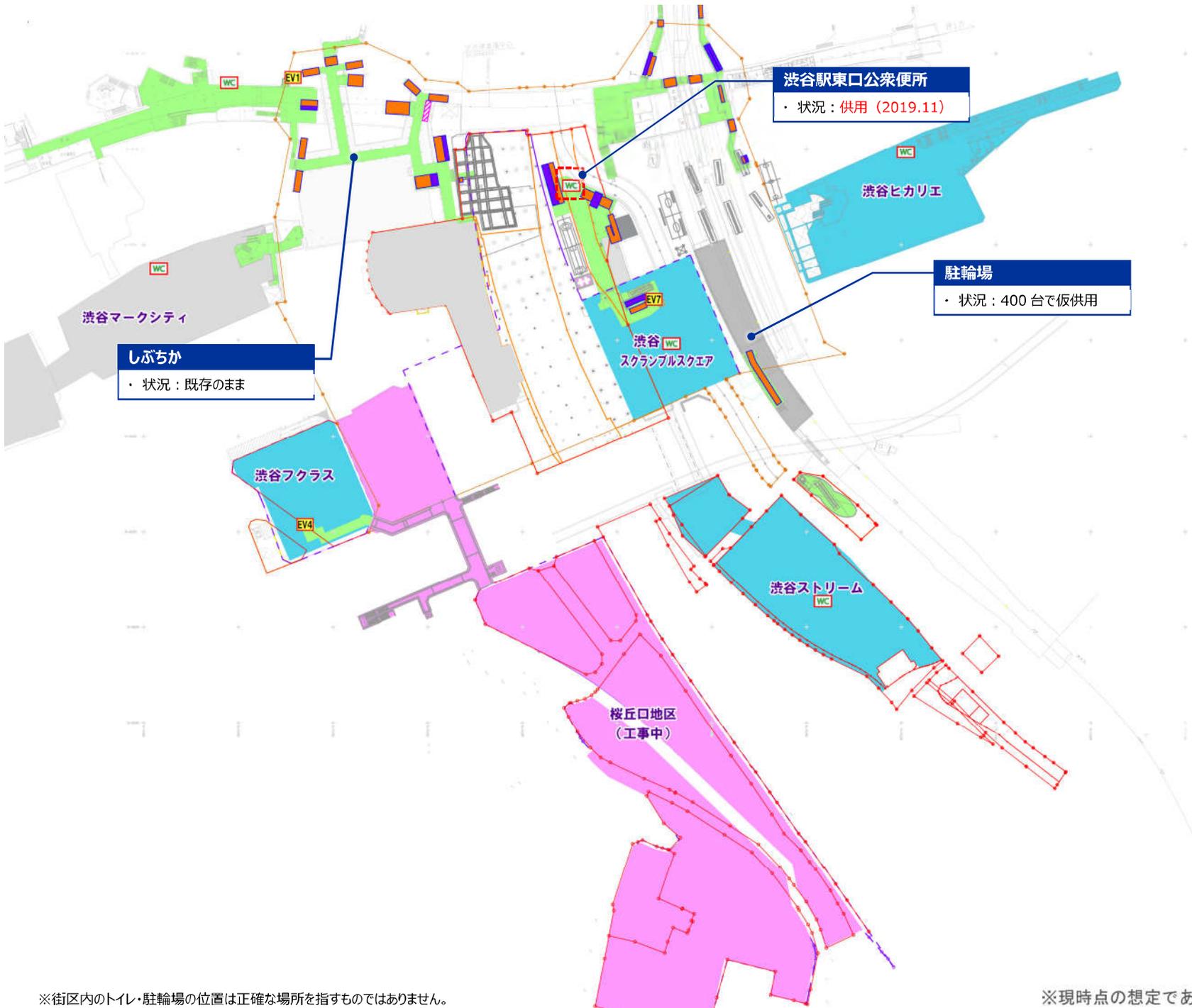
凡例

- EV ラッチ内エレベーター
- EV ラッチ外エレベーター
- E エスカレーター
- S 階段・段差
- S 階段（自転車車路付き）
- S スロープ（基準外）
- B 駐輪場
- WC ラッチ内トイレ（多目的あり）
- WC ラッチ内トイレ
- WC ラッチ外トイレ（多目的あり）
- WC ラッチ外トイレ
- O 仮設構台
- G 歩道・歩行者通路
- L ラッチ内
- P 工事中
- P 常設作業帯
- G 既存建物
- G 竣工建物・構造物
- G 現況区画
- G 土地区画
- G 将来敷地境界
- G 改札

※街区内のトイレ・駐輪場の位置は正確な場所を指すものではありません。

※各開発計画建物は想定であり、今後の検討の深度化により変更となる。

B1階

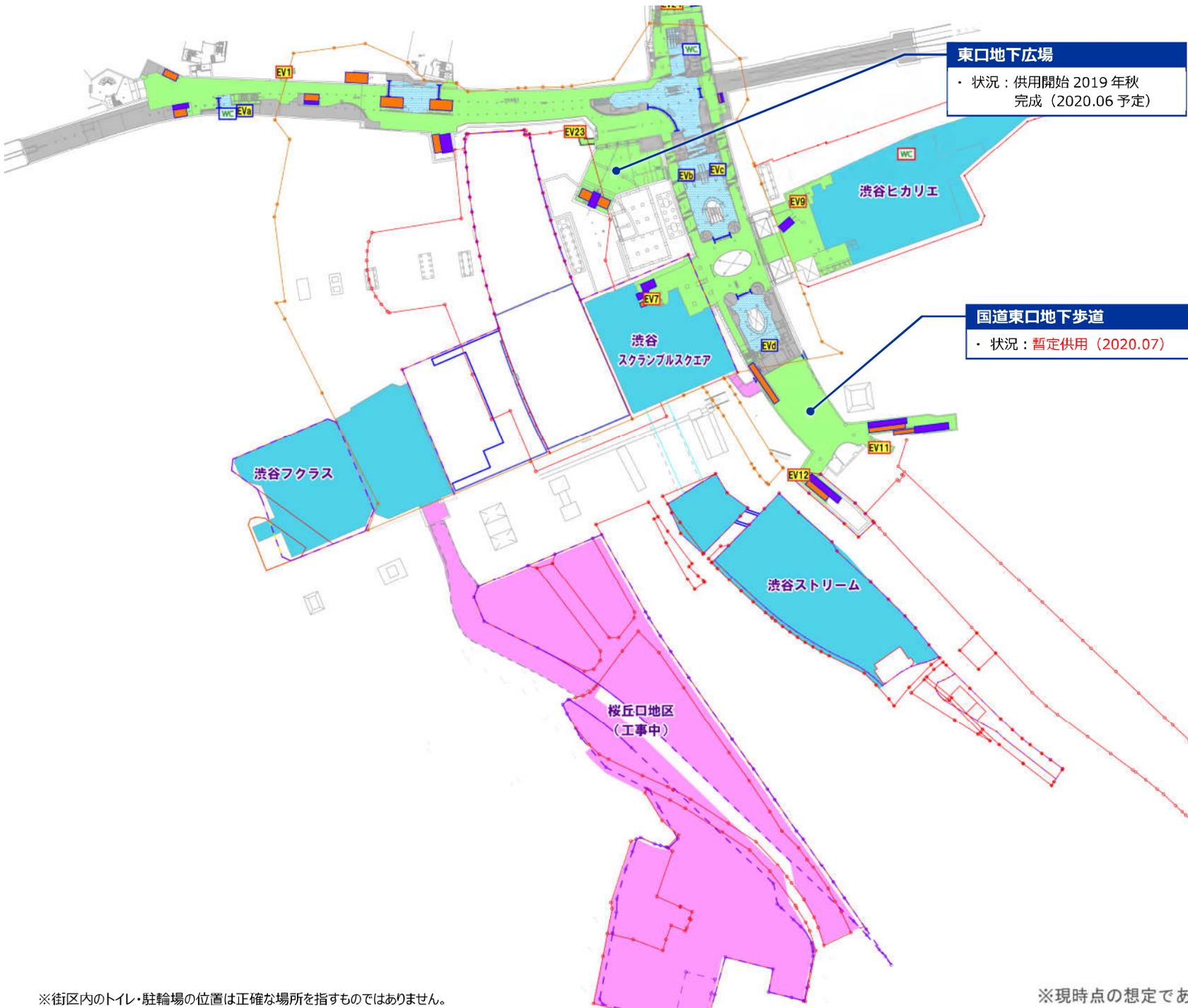


凡例	
EV	ラッチ内エレベーター
EV	ラッチ外エレベーター
エ	エスカレーター
階段	階段・段差
階段	階段 (自転車車路付き)
スロープ	スロープ (基準外)
駐輪場	駐輪場
WC	ラッチ内トイレ (多目的あり)
WC	ラッチ内トイレ
WC	ラッチ外トイレ (多目的あり)
WC	ラッチ外トイレ
仮設構台	仮設構台
歩道	歩道・歩行者通路
ラッチ内	ラッチ内
工事中	工事中
常設作業帯	常設作業帯
既存建物	既存建物
竣工建物・構造物	竣工建物・構造物
現況区画	現況区画
土地区画	土地区画
将来敷地境界	将来敷地境界
改札	改札

※街区内のトイレ・駐輪場の位置は正確な場所を指すものではありません。

※現時点の想定であり、今後の計画の深度化により変更となる。

B2階



東口地下広場
 ・ 状況：供用開始 2019 年秋
 完成（2020.06 予定）

国道東口地下歩道
 ・ 状況：暫定供用（2020.07）

凡例

	ラッチ内エレベーター
	ラッチ外エレベーター
	エスカレーター
	階段・段差
	階段（自転車車路付き）
	スロープ（基準外）
	駐輪場
	ラッチ内トイレ（多目的あり）
	ラッチ内トイレ
	ラッチ外トイレ（多目的あり）
	ラッチ外トイレ
	仮設構台
	歩道・歩行者通路
	ラッチ内
	工事中
	常設作業帯
	既存建物
	竣工建物・構造物
	現況区画
	土地区画
	将来敷地境界
	改札

※街区内のトイレ・駐輪場の位置は正確な場所を指すものではありません。

※現時点の想定であり、今後の計画の深度化により変更となる。

全体広場計画（広場ビジョン）について

1.全体広場計画の考え方の概要	p1
2.これまでの検討内容	
1) 全体広場計画のおさらい（渋谷の広場に必要と考えられる機能について）	p2
2) 前回地元調のおさらい（周辺の広場の今の使われ方について）	p3
3.本日の議論内容	
1) 渋谷の広場空間に必要と考えられる機能の再共有	p5
2) 今回議論で対象とする広場の説明	p7
3) すでに完成している広場の使われ方	p8
4) 議論①どんな憩い・潤い・リラックス空間が欲しいか、どうあって欲しいか	p11
5) 議論②どんな交流・にぎわいの催し物・イベント等として何をやりたいか	p14
4.今後の予定	p16

1)背景と目的

■背景

- 渋谷駅中心地区の都市空間は、従前の都市計画の議論において、まちづくり指針などの上位方針を踏まえた内容で渋谷の将来像として計画されてきました。
- 駅街区の都市計画決定（2009年）から約10年が経過し、計画が具体化していく中で、**新たな周辺開発による状況の変化**や**世の中の歩行者中心の都市空間といった潮流**も後押しし、渋谷の将来像を実現するためには、新たに生み出される空間や更新されていく空間を、**多様な活動を支える空間として一体的なあり方の議論が必要**とされています。



■目的・アウトプット

- 渋谷駅周辺の広場空間を対象に、**まちの人や利用者の期待も踏まえ**、機能や規模に関する空間の配置案や効果的な運営・連携の仕組みについて、「**渋谷駅中心地区における広場空間のあり方（渋谷まちなか広場ビジョン（案））**」として提案することを目的とします。



1)第50回地元調整協議会の振り返り

●昨年度からは、もっと広く『渋谷駅周辺』における将来の広場空間の必要機能を「待合せ（ゲート）」、「憩い・潤い・リラックス」、「交流・にぎわい」、「情報発信」、「防災（非常時）」とし、規模などについて、検討を始めました。

(3) 渋谷駅中心地区全体における広場空間のあり方について (案)

- 背景**
 - 渋谷駅中心地区の都市空間については、従前の都市計画の調音において、まちづくり指針などの上での方針を踏まえ、改めて渋谷の将来像として計画されてきました。
 - 駅周辺の都市計画決定（2009年）から約10年が経過し、計画が具体化していく中で、新たな発想による大規模な変化もあり、渋谷の将来像を実現するためには、これまでの計画の「刷新」が必要とされています。
- 目的**
 - 渋谷駅中心地区全体の広場空間について、機能や利便の観点から具体的な空間の配置を検討するとともに、当該広場空間について、より効果的な運営・管理の仕組みを検討し、それらを「渋谷駅中心地区における広場空間のあり方」として提案することを目的としています。

どこにどれくらいの広場空間があるか 広場の配属の整理

- 実際に使える広場空間を、半壁で重ね合わせるとどのようになるか確認しています。

計画されている広場面積の充足の度合いを確認 方向・機能で充足度合いを確認

- 算出した必要面積をもとに、計画面積よりさらに充実させるべき空間について確認しています。

交流・にぎわい機能	必要面積の総量について、計画246haの南側は充足していますが、北側はさらに必要と考えられます。
憩い・潤い・リラックス機能	必要面積について、計画246haの南側は充足していますが、北側はさらに必要と考えられます。
ゲート（待合せ）機能	各方面とも、必要面積が確保されていると考えられます。

渋谷の広場空間に必要な役割・機能は？ 上位計画より決める必要機能

- 上位計画であるまちづくり指針から、渋谷駅中心地区の広場空間に必要な役割・機能を整理しています。

必要な役割・機能	交流・にぎわい	憩い・潤い・リラックス	ゲート（待合せ）
関係する役割・機能	マルシェ、音楽ライブ、企業イベント、多様なイベントをいえる場所	車庫のメゾニン階の歴史、異なった体験、等、作って残る場所	駅から近く、目撃感があり、分かりやすい見通
イメージ			

機能ごとに見ると、どこにどれくらいの広場空間があるか 機能ごとの基本配属の整理

- 既定計画から、それぞれの機能を待つ広場空間を整理しています。

駅点駅直近における広場事例 まとまった広場空間の事例

- 駅点駅直近の広場事例より、渋谷駅直近に、まとまった広場空間が必要と考えられます

必設広場	五本木にルズアリーナ	池袋西口公園
<ul style="list-style-type: none"> 必要コンセプト：人脈の広場 全体コンセプト：木々が生まれ、大気が変わる、街が活気づく 面積：約1,700㎡（メイプルパーム） 収容人数：1,500～2,000名 駅（池袋）からの徒歩：約100m 	<ul style="list-style-type: none"> 必要コンセプト：新しい形の広場 全体コンセプト：「文化・教育」を生み出す 面積：約1,500㎡ 収容人数：約500名 駅（池袋）からの徒歩：約1,000m 駅（池袋）からの徒歩：約300m（有楽町線方面） 	<ul style="list-style-type: none"> 必要コンセプト：新しい形の広場と繋がる公園広場 全体コンセプト：まちの中や街の隅に広がる公園広場 面積：約3,000㎡（約100m×30m） 収容人数：約1,500名 駅（池袋）からの徒歩：約100m

実際に使える広場空間はどれだけあるか 実際の広場空間の確保

- 広場空間候補から、歩行者が通行するために必要な歩道を除去、実際に使える広場空間の面積を確認しています。

1階レベル ※イメージを参照

実際に使える広場空間はどれだけあるか

- 広場の使われ方を想定し、方向ごと・機能ごとに必要な広場面積を算出しています。

- ①データから、必要面積を算出する「共通の考え方」となる考え方を提案
 - 異なるゾーンの考え方
 - ②①以外の様々な考え方をそれぞれの機能について提案
- ②①以外の様々な考え方をそれぞれの機能について提案
 - 異なるゾーンの考え方
 - ③①②の考え方をもとに、具体的な広場空間のイメージを提案

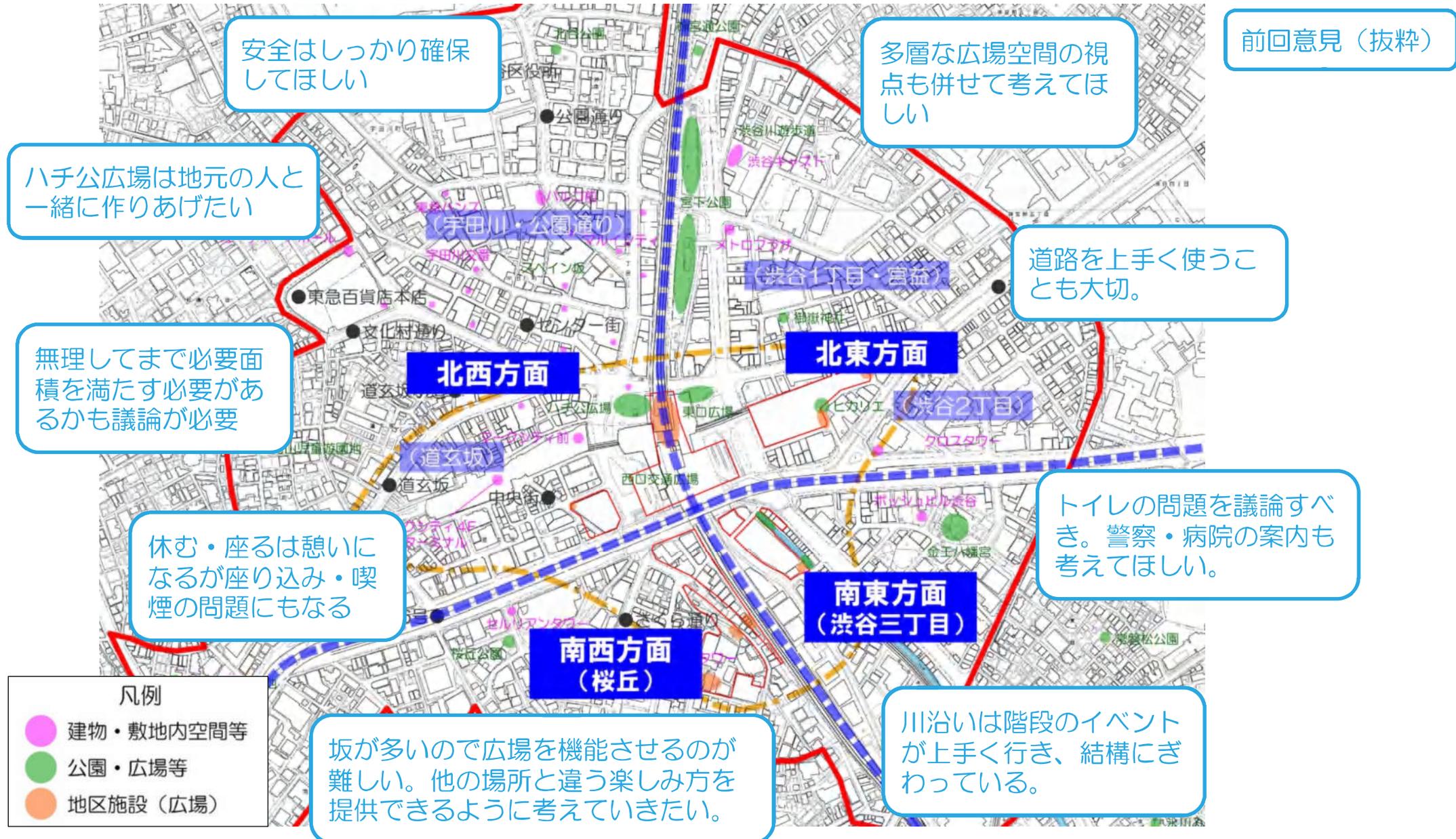
今後の進め方

- 現在の計画では「どこにどれくらいの広場空間があるか」を機能ごとに確認しています。
- これを踏まえて、さらに充実させるべき空間を検討しています。
- さらに充実させるべき空間の量と配置について確認し、必要に応じてその対応について検討します。
- 広場空間の運営方法や、渋谷駅中心地区全体として広場空間をどのように使うべきかについて検討します。

「渋谷駅周辺における全体広場空間のあり方」として提案していきます。

2)第51回地元調整協議会の振り返り

- 渋谷駅周辺を国道246号とJR線から4方面に分け、各方面のまちの広場について、大きさや広場の施設（ベンチ等）、利用している人たちを調べ、まちのみなさんが思う、素敵なおとこ、良くしたいところ、やってみようことを伺いました。



2)第51回地元調整協議会の振り返り

●各方面のまちの広場について、大きさや広場の施設（ベンチ等）、利用している人たちを調べ、素敵なおとこ、良くしたいところ、やってみたいことを伺いました。

①神宮通公園

15時頃

会社員、高齢者

約1,500㎡

休憩

利用人数はあまり多くなかった。座る用の石が数箇所あり、休憩している人も見られた。
(自販機あり)



②キャットストリート

14時半頃

小学生、学生、会社員、外国人、親子連れ

約400㎡

遊戯、休憩

緑地脇のベンチ、店舗内ソファ、テラス。(多くの人が利用)
ベンチ、植木脇のフェンスは、比較的多く利用されている。



③渋谷キャスト

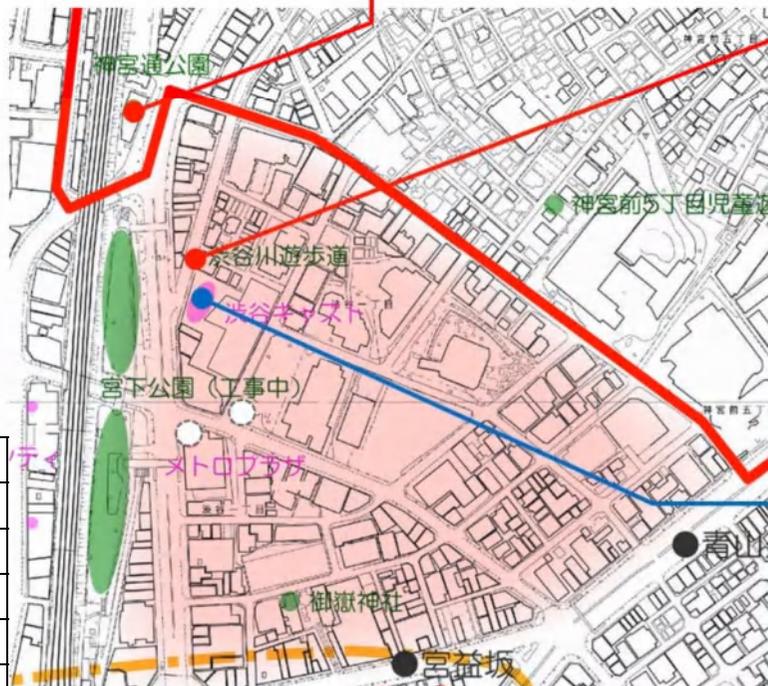
14時半頃

学生、会社員、外国人

約1,200㎡

食事、休憩、打合せ

ベンチではコンビニや出店の食事をしている人が多く、ソファ、テラスでは食事や打合せをしている人が多かった。
緑地脇のベンチ、店舗内ソファ、テラスを利用している人が多い。



表の凡例

名称
調査時間
利用者
面積
活用方法
備考

★本日お伺いしたいこと★

『**渋谷駅周辺広場**』には、
どんな「**憩い・潤い・リラックス**」、どんな「**交流・にぎわい**」
がどこにあると良いか

例えば…

- △△駅の広場のような広場を目指したい
- ○○方面にはもっとくつろげるようにベンチや緑が欲しい
- 人が多い場所なので少し休憩できるぐらいの腰掛けがあればいい
- 落ち着いた場所なのでイベント広場はわざわざ作る必要がない
- △△のようなイベントができる広場が欲しい
- まちのイベントの導入になるようなこと（開会式等）ができる広場が欲しい。

3.本日の議論内容

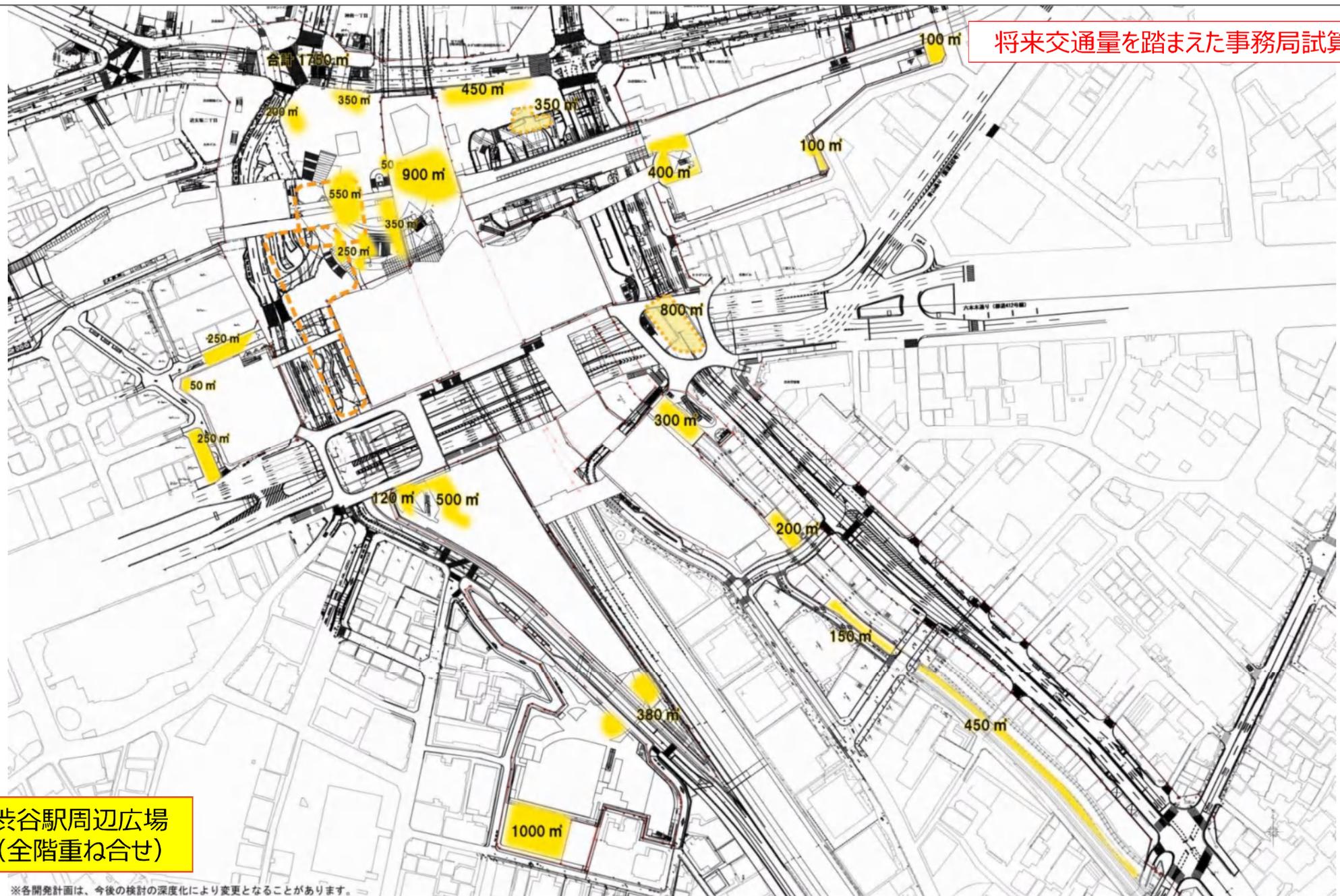
2)渋谷駅に必要であると考えられる機能

- まちの上位計画等から、渋谷駅の広場には大きく以下の機能が必要と考えています。
- 本日は特に「憩い・潤い・リラックス」と「交流・にぎわい」機能がどうあるべきか、皆さんに議論してほしいと考えています。

機能	考え方
ゲート (待合せ)	<ul style="list-style-type: none">・人の多い渋谷では、安全のために重要度が高い機能である。・将来の交通量に応じた面積を優先的に確保することとする。
憩い・潤い・ リラックス	<ul style="list-style-type: none">・人の居場所となる重要な機能。・周辺の環境や使う人によって必要なものが異なる。 (緑の量や、座る人の間隔など) <div data-bbox="1411 654 2172 877" style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px;"><p><u><今日①></u> どういった「憩い・潤い・リラックス」が、どこにあると良いか、ご意見を伺いたい。</p></div>
交流・ にぎわい	<ul style="list-style-type: none">・まちに付加価値をもたらす重要な機能。・駅前に必要なのは、イベント会場？ 人の多さを生かして発信ができる場所？ <div data-bbox="1411 941 2172 1165" style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px;"><p><u><今日②></u> どういった「交流・にぎわい」が駅前にあると良いか、場所ごとの特徴も踏まえてご意見を伺いたい。</p></div>
情報発信	<ul style="list-style-type: none">・決まった面積を必要とする機能ではないが、他のすべての機能に付随し、渋谷らしさを形成する大きな要因となる。
防災 (非常時)	<ul style="list-style-type: none">・非常時に必要な機能である。安全確保計画に倣い一時避難等のための面積は駅前には想定しない。

3)対象となる広場(渋谷駅周辺広場)

●今回の議論の中で対象とする広場は以下に示す交通広場や地区施設です。



渋谷駅周辺広場
(全階重ね合せ)

※各開発計画は、今後の検討の深度化により変更となることがあります。

3.本日の議論内容

4)広場の使われ方イメージ(ハチ公広場)

●現在ある駅前の広場では、機能ごとのイメージはこのようになっています。(ハチ公広場は将来的に形が変わります。)

交差点の信号待ち

- ・非常に多くの人がスクランブル交差点の信号待ちをしています。



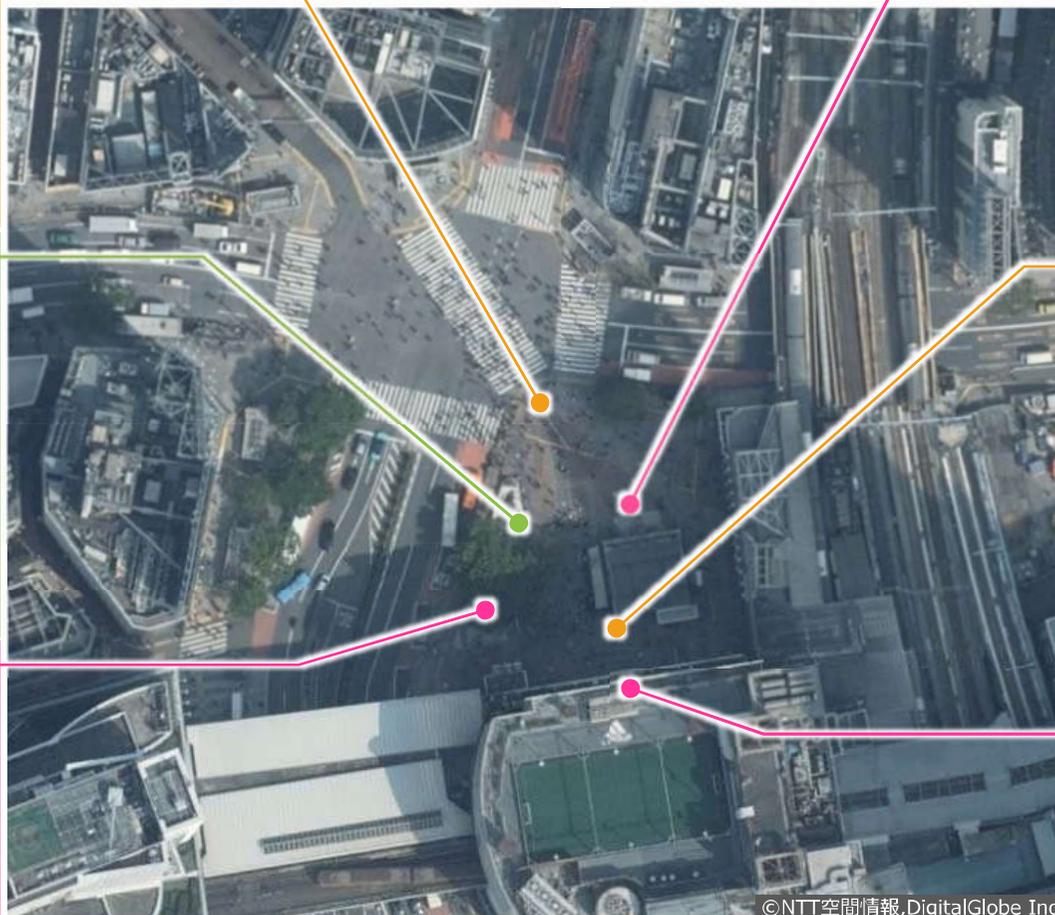
植栽周辺

- ・ちょっと腰をかけることができる植栽。多くの人が腰を掛けています。



ハチ公像との記念撮影

- ・外国人観光客をはじめとしたハチ公像との記念撮影とその行列が見られます。



©NTT空間情報,DigitalGlobe Inc.

憲章ボード前

- ・TVのインタビューやフリーハグ、Youtuberなど、様々な人と交流を図ろうとする人が見られます。



青ガエルや東急百貨店西館壁沿い

- ・壁沿いに待合いをしている人が多く見られます。



東急百貨店西館壁前

- ・まちのイベントの会場になることもあります。



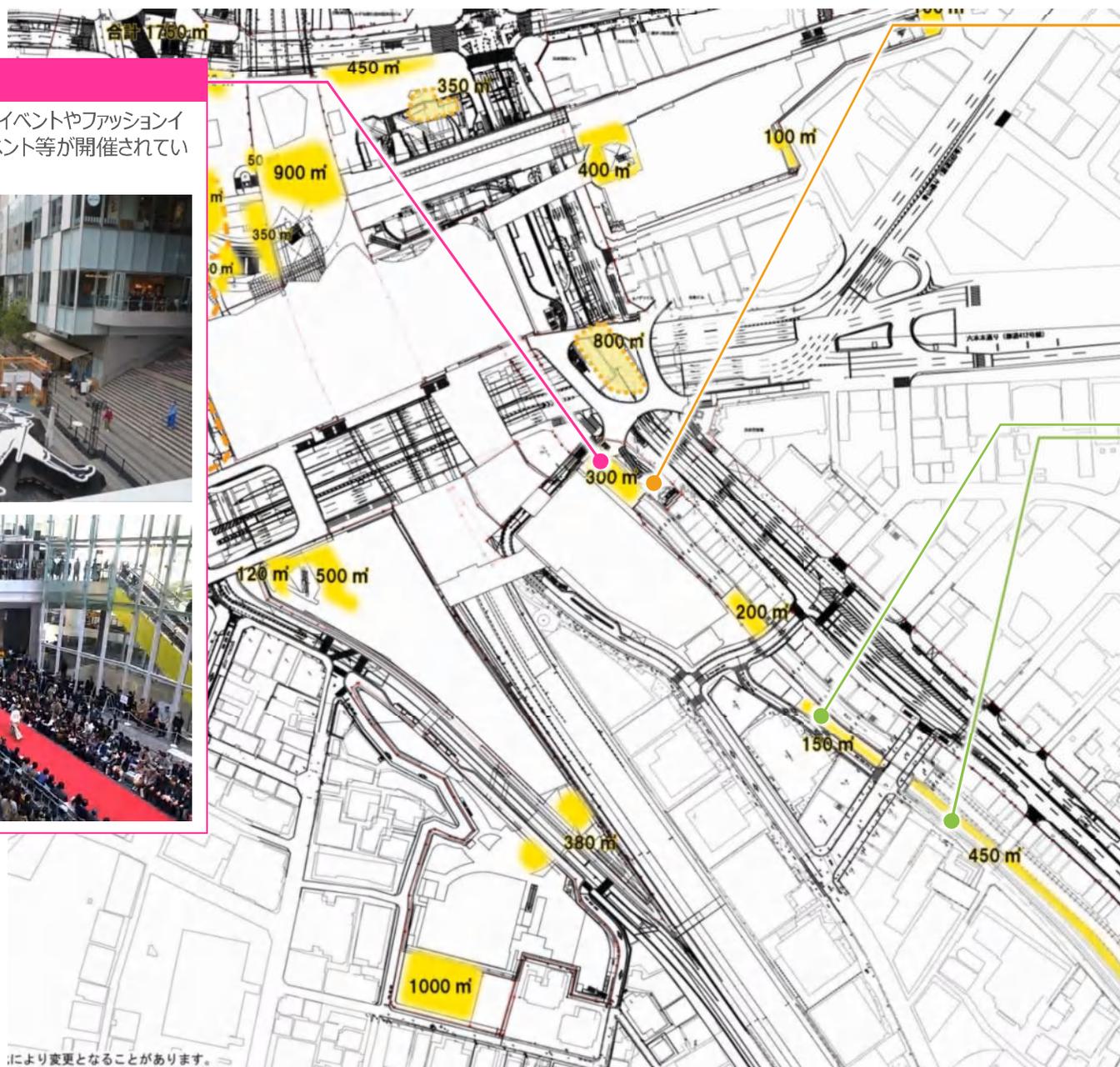
3.本日の議論内容

4)広場の使われ方イメージ(渋谷ストリーム・渋谷川)

●現在ある駅前の広場では、機能ごとのイメージはこのようになっています。

稲荷橋広場

●稲荷橋広場では、音楽イベントやファッションイベント、お酒を楽しむイベント等が開催されています。



アーバン・コア周辺

●アーバン・コア周辺では待合せをする人が若干見られます。



金王橋広場・渋谷川リバーストリート

●金王橋広場や渋谷川リバーストリートでは、平日昼間にキッチンカーに並ぶオフィスの人や、周辺ベンチでランチする人が見られます。



により変更となることがあります。

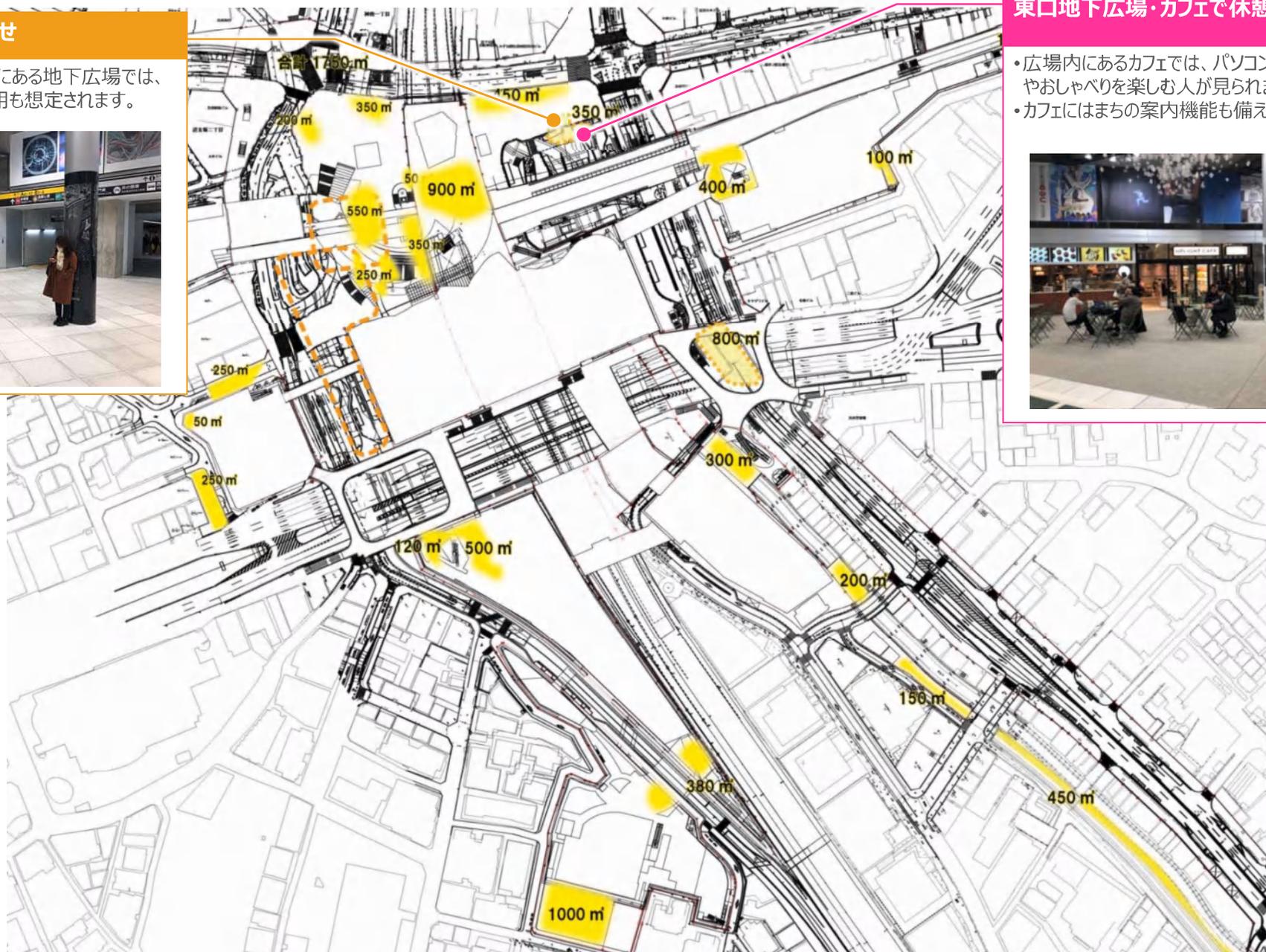
3.本日の議論内容

4)広場の使われ方イメージ(渋谷駅東口地下広場)

●現在ある駅前の広場では、機能ごとのイメージはこのようになっています。

東口地下広場・待合せ

●駅とまちをつなぐ動線上にある地下広場では、待合せ場所としての利用も想定されます。



東口地下広場・カフェで休憩

●広場内にあるカフェでは、パソコン作業をする人やおしゃべりを楽しむ人が見られます。
●カフェにはまちの案内機能も備えられています。



★本日お伺いしたいこと★

P7に示した渋谷駅
周辺広場について

『渋谷駅周辺広場』には、
どんな「憩い・潤い・リラックス」、どんな「交流・にぎわい」
がどこにあると良いか

例えば…

- △△駅の広場のような広場を目指したい
- ○○方面にはもっとくつろげるようにベンチや緑が欲しい
- 人が多い場所なので少し休憩できるぐらいの腰掛けがあればいい
- 落ち着いた場所なのでイベント広場はわざわざ作る必要がない
- △△のようなイベントができる広場が欲しい
- まちのイベントの導入になるようなこと（開会式等）ができる広場が欲しい。

3.本日の議論内容

5)本日皆さんにお聞きしたいこと(憩い・潤い・リラックス)

- 憩い・潤い・リラックスの空間に大きく関わるのは緑被（緑で覆われた割合）とベンチ等の休憩スペースであると考えています。
- 以下に緑被率を度合い別に並べたものを整理しました。

機能	考え方			
憩い・潤い・リラックス 緑被				
	(ハチ公広場)	(姫路駅サンクンガーデン)	(丸の内ブリックスクエアガーデン)	(NYブライアントパーク)
<p>緑や水が少ない← →緑や水が多い</p>				
憩い・潤い・リラックス ベンチなどの休憩スペース				
	座るところがない空間 (博多駅の通路)	腰をかけることができる空間 (ハチ公広場)	座って寛げる空間 (大手町ファーストスクエア)	ベンチ机が整備されている空間 (渋谷CASTガーデン)
<p>ちょっと休憩← →しっかり寛ぐ</p>				

3.本日の議論内容

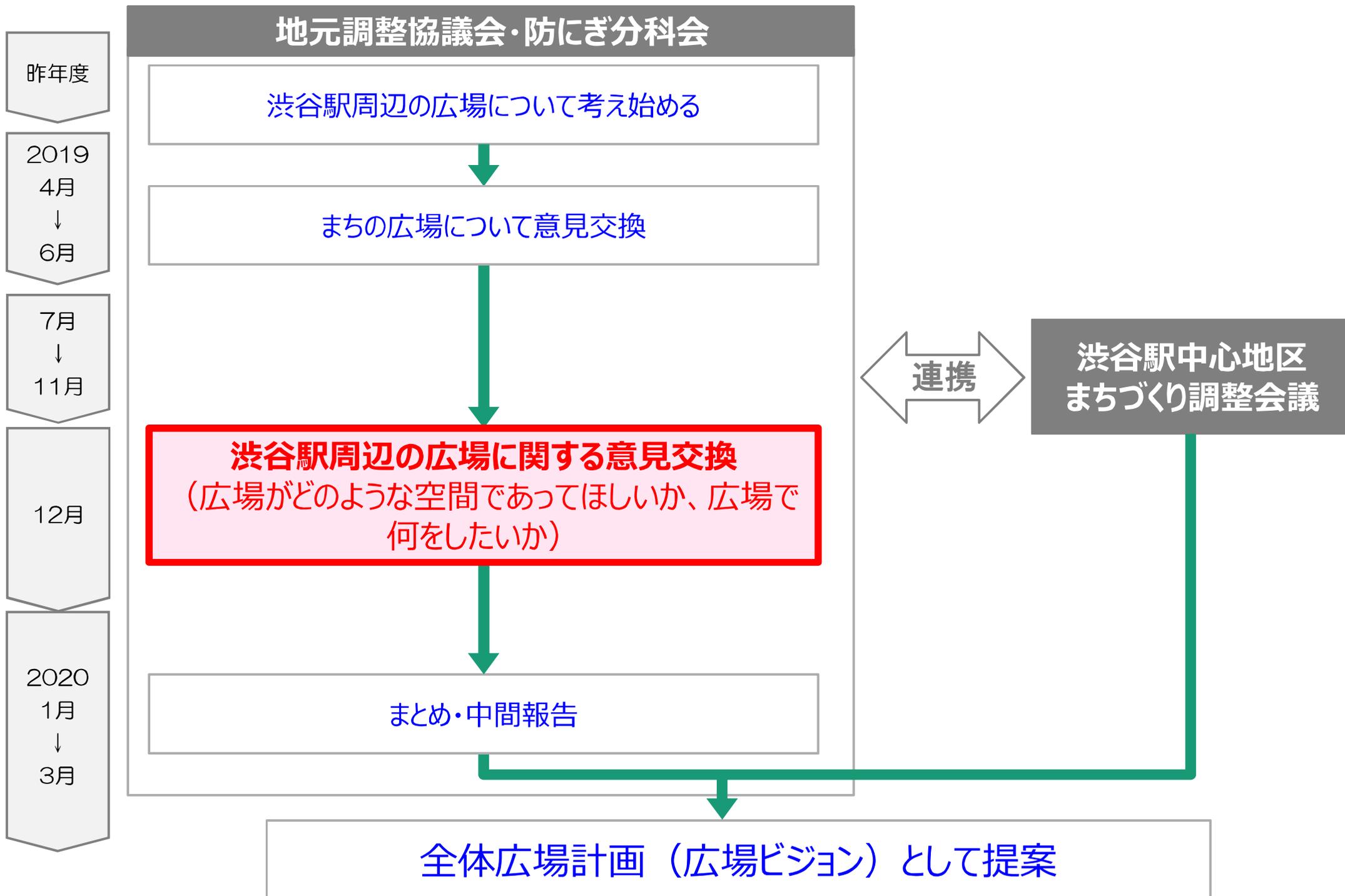
6)本日皆さんにお聞きしたいこと(交流・にぎわい)

●以下に交流・にぎわいに資するイベント等をタイプ別・規模別に整理しました。

小 ← 規模感 → 大



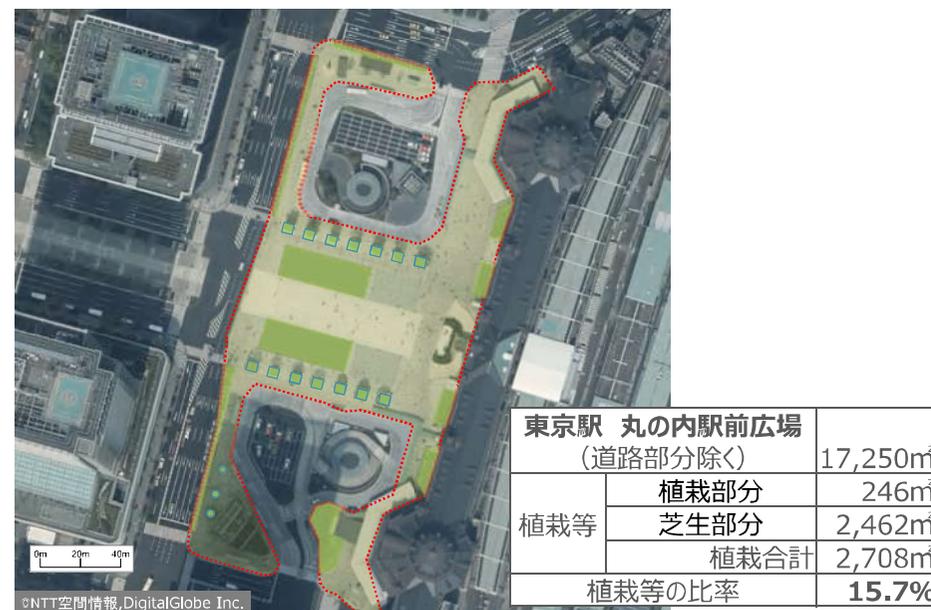
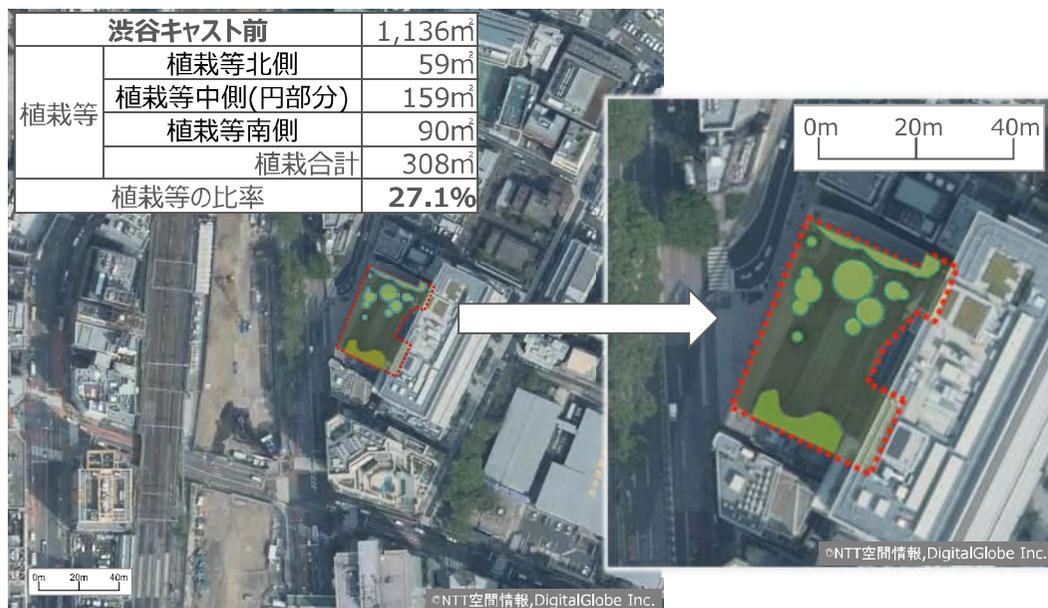
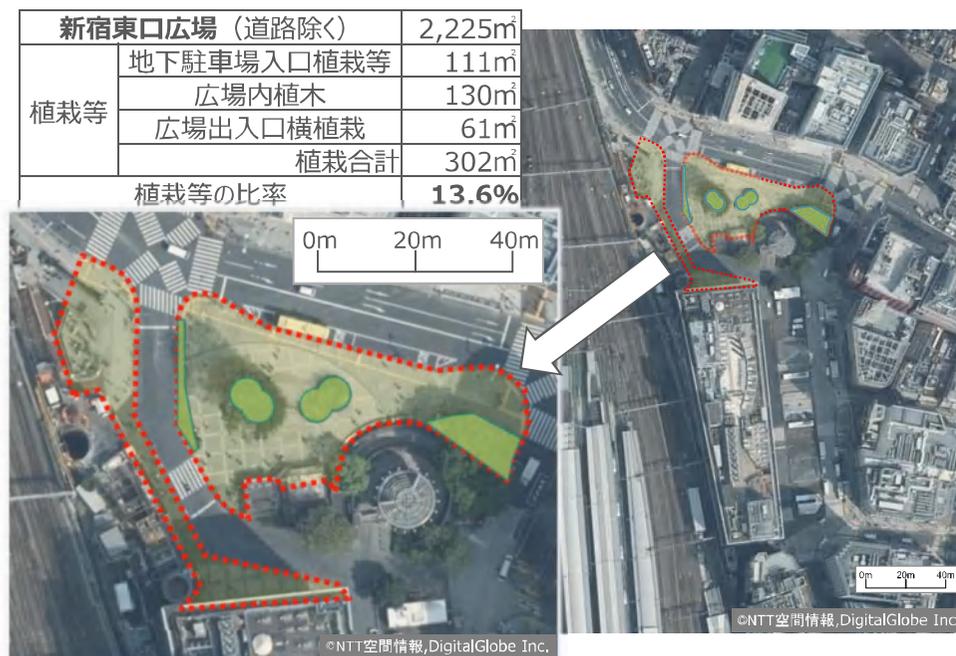
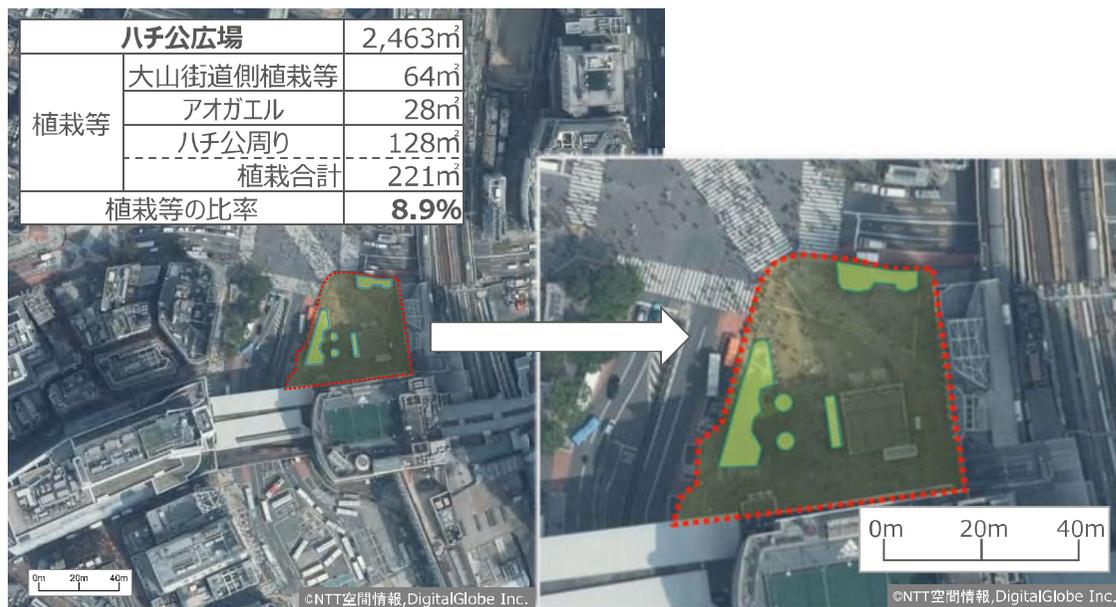
4.今後の予定



3.本日の議論内容

5)本日皆さんにお聞きしたいこと(憩い・潤い・リラックス)

参考) 都内の駅前広場における緑被率・ベンチ設置



今回の議論の目的

現在、全体広場計画と併せて、主要な広場等について、検討を進めています。具体的には、ハチ公広場や広場に繋がるスクランブル交差点、東西・南北方向に拡がり、地上、地下、デッキ階の多層に渡る歩行者の空間が対象です。

- 渋谷の代名詞とも言える『ハチ公広場・スクランブル交差点の魅力』について、事務局として以下の観点から整理してみました。
 - ① 各方面のメディアに取り上げられ、ブランドとなっている **概念化された魅力**
 - ② 場所・形状が有する **都市空間に着目した魅力**
 - ③ 圧倒的な量や動きを呈する **人に着目した魅力**
- 『ハチ公広場・スクランブル交差点整備の基本的な考え方』をまとめるために、渋谷で生活されている皆さまのご意見を訊きたいと考えます。

(1) 魅力についてのキーワード出し

魅力

概念化された魅力

- ・ ハチ公の存在
 - ・ にぎわい・虚無感・都市像など様々なテーマ性
 - ・ 日常的にメディア、映画等に広く取り上げられていること
 - ・ 歓喜にあふれる空間
 - ・ 巨大なスクランブル交差点
 - ・ 土地に漂う気風
- 等

都市空間に着目した魅力

- ・ 偶然に作られた最適な広場空間
 - ・ 絶妙の立地を生かした空間配置
- 等

人に着目した魅力

- ・ ダイナミックな人の動き
 - ・ 圧倒的な歩行者交通量
 - ・ 陣合戦を想起させるような信号待ちの風景
 - ・ なだれ込む群衆という風景
 - ・ 自由解放の空間
- 等

魅力の要因	整理項目
<ul style="list-style-type: none"> ・ その知名度・ブランドカ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力についてのキーワード出し (P.1)
<ul style="list-style-type: none"> ・ ハチ公(像)の存在 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハチ公像の位置 (P.2)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 建物に囲まれた広場形状 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現況と現計画の比較 (P.3、4)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 交差点先端に立った時の渋谷らしさ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見え方の比較 (P.5)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人の量・人の動き 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交差点内の歩行者交通量 (P.6)

渋谷の魅力を「概念」「都市空間」「人」で整理してみました。

(2) ハチ公像の位置

評価項目

<p>物語性</p> <ul style="list-style-type: none"> • 主人の帰りを喜ぶハチ公らさからJR駅改札を向いていること 	<p>象徴性</p> <ul style="list-style-type: none"> • モニュメントとしてJR改札、スクランブル交差点から判り易い位置にあること。 	<p>広場空間全体の円滑性</p> <ul style="list-style-type: none"> • 主な歩行者の動線が取れて広場の使いやすさに十分配慮されていること。 	<p>撮影背景</p> <ul style="list-style-type: none"> • 撮影背景に渋谷らしい風景が映り込むこと
--	---	--	--

ハチ公像を含むパッケージ配置ケースと評価コメント

A

- JR改札に方向にも向けられる
- JR改札からの視認性が良い
- スクランブル交差点からの視認性が良い
- 交差点滞留者と待合の人の仕切りが難しい
- 撮影背景に渋谷らしさがある

B

- JR改札に方向にも向けられる
- JR改札からの視認性が良い
- スクランブル交差点からの視認性が良い
- 交差点滞留者と待合の人の仕切りが難しい
- 撮影背景に渋谷らしさがある

C

- JR改札に方向にも向けられる
- JR改札からの視認性が良い
- スクランブル交差点からの視認性が良くない
- JR改札付近で流動阻害がある
- 撮影背景に渋谷らしさがない (階段の壁)

D

- JR改札を向いていない
- JR改札からの視認性が良い
- スクランブル交差点からの視認性が良くない
- JR改札付近で流動阻害がある
- 撮影背景に渋谷らしさがない (JRの外壁)

E

- JR改札に方向にも向けられる
- JR改札からの視認性が良い
- スクランブルからの視認性良くない
- 流動阻害は少ない
- 撮影背景に渋谷らしさがない (デッキ下部)

F

- JR改札に方向にも向けられる
- JR改札からの視認性は良くない
- スクランブル交差点からの視認性が良い
- 流動阻害は少ない
- 撮影背景に渋谷らしさがある

※

※現計画UC大階段と不整合

スクランブル交差点

JR改札

想定位置

凡例

- 交通流動 (想定)
- 現計画
- 現況
- 地下街

○ = 約130㎡

<パッケージ>

ハチ公像を中心に、人が溜まっているひとかたまりの空間を最低限のパッケージと捉えました。(像+植栽)

Scale (m)
0 2 5 10 20

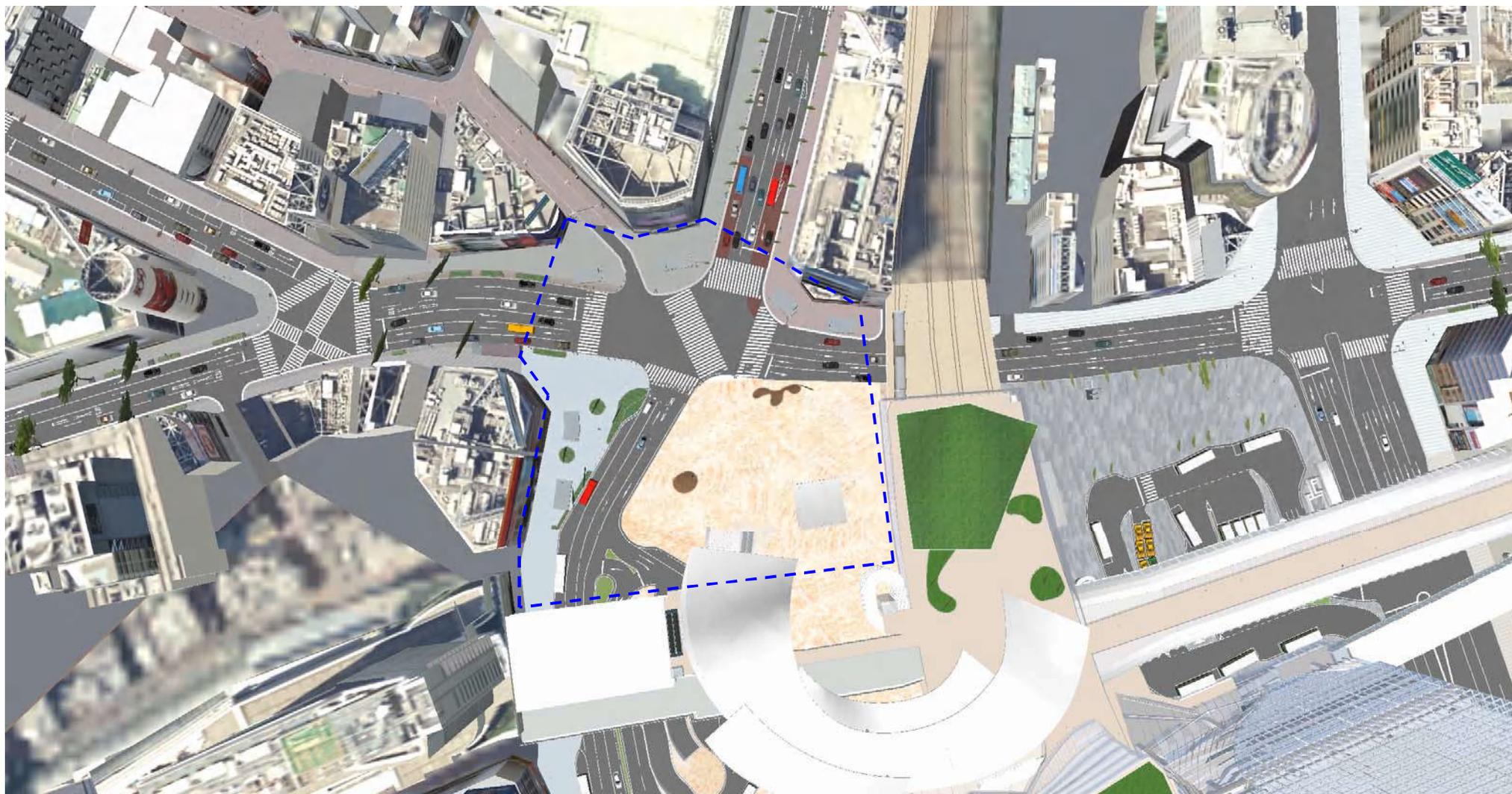
ハチ公像を一番いい場所に設置したいと考えます。

(3) 現況 (上空)



スクランブル交差点とハチ公広場を囲む広さや形は、
現在も将来も概ね同様です。

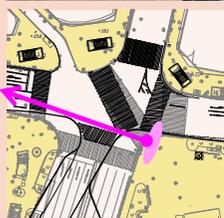
(3) 現計画 (イメージVR)



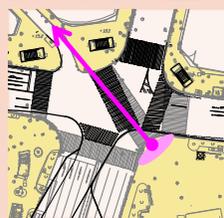
スクランブル交差点とハチ公広場を囲む広さや形は、
現在も将来も概ね同様です。

(4) 交差点広場側先端部での見え方の比較

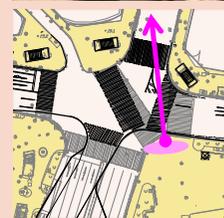
現況



109側

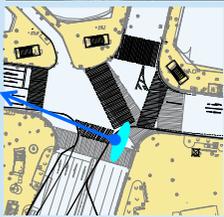


センター側

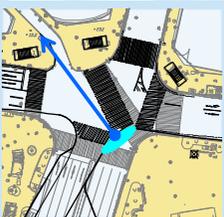


OIOI側

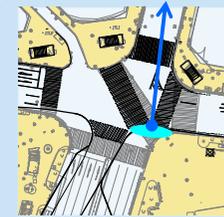
現計画



109側



センター側



OIOI側

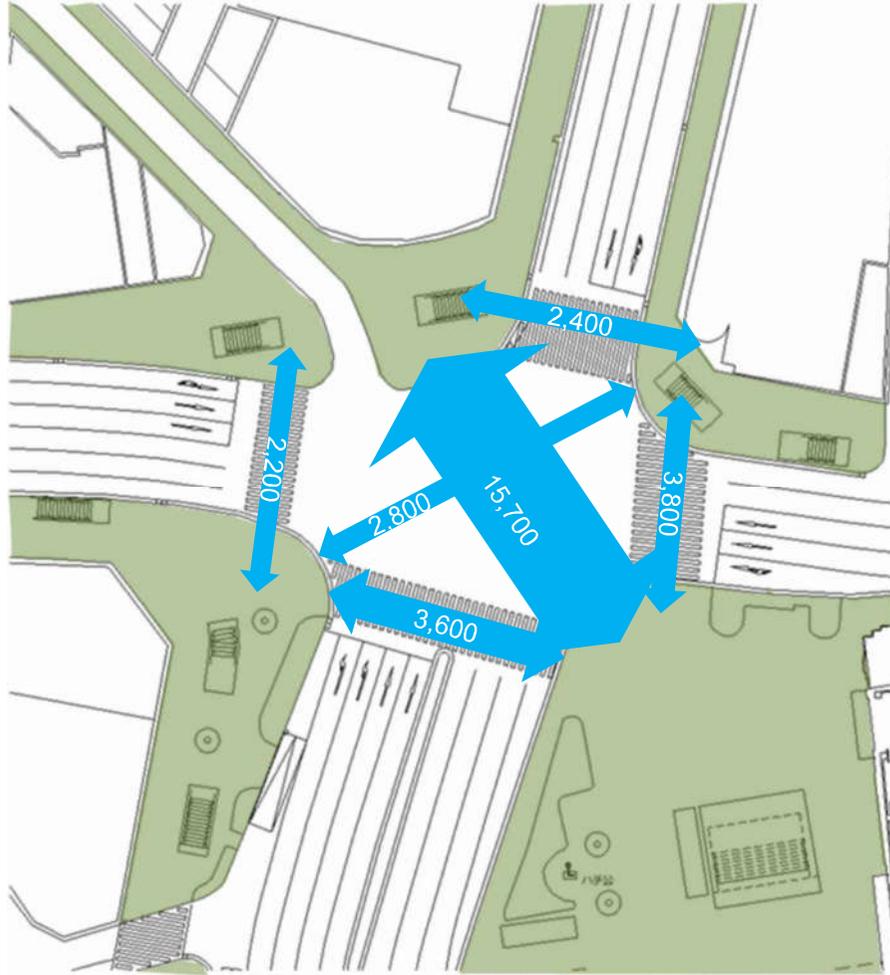
広場が広がることで見え方も少し変わります。

(5) 交差点内の歩行者量

(2005年調査)

〔平日〕

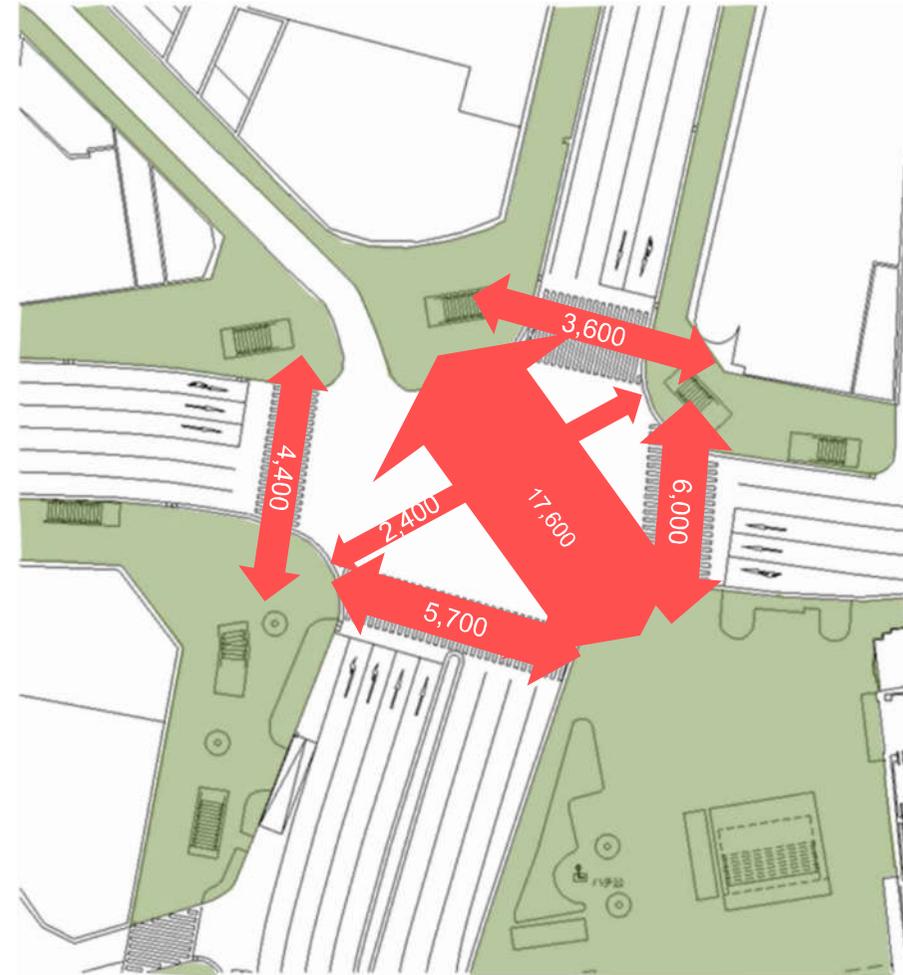
交差点歩行者通行量 1日約30万人



ピーク時間歩行者横断量 (18:00~19:00)

〔休日〕

交差点歩行者通行量 1日約38万人



ピーク時間歩行者横断量 (17:00~18:00)

駅～センター街の歩行者量が、他の方向に対して圧倒的に多く、平日は4～7倍、休日は3～7倍となります。

『ハチ公広場・スクランブル交差点の魅力』について、
その知名度「概念」、形状を含めた「都市空間」
そして圧倒的な「人」について整理しました。

これらを参考に

- ハチ公像の位置
- ハチ公像の向き
- スクランブル交差点の魅力

について、皆さまのご意見をお聞かせ下さい。